

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	総合発達支援プラザ ふらっぶ1号館 児童発達支援		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 18日		～ 2025年 2月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 23日		～ 2025年 2月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	アセスメントの実施と支援計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> 現在の発達状況の確認・共有を丁寧に実施し、ご家族と共通理解を図っている。 アセスメントした内容を多職種の視点で確認し、支援計画の作成につなげている。 5領域の項目を活かして幅広い視点で捉えた支援計画の作成を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」のねらいを踏まえた、より具体的な支援内容を設定する。 標準化されたアセスメントツールを再検討する。
2	活動プログラムの内容と実施	<ul style="list-style-type: none"> 支援計画に沿った活動内容を検討し実施している。 発達状況に応じた活動プログラムの段階付けを行っている。 多職種の視点を取り入れた活動内容を検討し実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動プログラムの時間、内容、実施方法などの更なる検討を行う。 個々の利用児に応じた、より細やかな段階付けを行う。
3	環境・スペースの利用方法	<ul style="list-style-type: none"> 環境(部屋)を分けて、少人数での活動プログラムを実施している。 活動内容や目的に応じて、設定の調整・変更をしながら実施している。 少人数での活動、集団での活動などプログラムに応じて環境を活かしながら実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動プログラムの内容に応じた、環境(部屋)ごとの活用方法の検討を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流(こども同士、地域住民)	<ul style="list-style-type: none"> 感染対策を継続して実施しているため、積極的な取り組みが実施できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 感染対策を行いながら、安全に実施できる交流の機会を検討する。 地域の園等との具体的な交流方法を検討する。(地域の園と併用している児も多いため、目的の明確化を図る) 地域に開かれた事業運営を再検討する。(今年度は、未就園児のお子さんと保護者を対象とした子育て応援の会の実施)
2	保護者交流・きょうだい同士の交流	<ul style="list-style-type: none"> 保護者交流会を1回/年実施できたが、頻度の少なさもあり、多くの方に提供できていない。 ご家族を対象としたハロウィンの行事を実施し、ごきょうだいの参加も見られたが、交流までは行っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者交流会の実施方法(頻度・時間・内容など)を再検討する。 ご家族同士の交流も含めた参加型・協力型の行事を検討する。
3	児童発達支援センターとの連携	<ul style="list-style-type: none"> 併用している児も少ないため、直接的な連携の機会がほとんどない。 研修会の案内を頂いていたが、都合が合わず出席できていない。 助言が欲しいケースなどに関しては、関係機関で連携・相談しながら進めることができています。 	<ul style="list-style-type: none"> 研修会に参加する 支援が困難なケースに関する担当者会議などへの同席の提案をする。